

アール医療専門職大学図書館

ニュースレター 第1号

2022年7月発行



図書館長挨拶

4月6日より、アール医療専門職大学図書館がオープンしました。図書館には医療や看護、リハビリテーション、福祉等に関わる専門書だけでなく、小説や歴史書など、一般的の書物も豊富に取り揃えています。また、勉強のための机やテーブルも揃えています。玄関横のオープンスペースも、利用することができます。皆さんが日々勉強や実習を行う3号館や5号館からちょっと離れていますが、静かなスペースで皆さんのお学習を支援したいと思います。どうぞ皆さんお気軽にご利用ください。

私は大学時代、ゼミ担当の教授から、「大学の図書館は、大学にとって『グラビティ』だからね。大切なんだよ。」と教わりました。グラビティとは、体で言えば「へそ」であり、「重心」という意味になります。

この図書館が、新しいアール医療専門職大学の「グラビティ」になるよう、図書館の職員さんと共に努力していきます。よろしくお願いします。

図書館長 原 修一（作業療法学科 教授）

図書館の感染対策

本図書館は、日本図書館協会の感染拡大予防ガイドラインに沿って、感染対策を行っています。

新型コロナウィルス感染症がまだまだ流行しているため、当面の間、座席は間隔をあけて利用をしていただきます。利用できる席が少なくなることを、ご了承ください。また入室の際には、マスクの着用、手指のアルコール消毒、検温にご協力ください。非接触式の体温計は、図書館入口横の貸出カウンターにありますので、職員に申し付けてください。

図書館トピックス

・以下のように長期貸し出しを行います。詳しくは大学のホームページから図書館のリンクをご覧下さい。

貸出日	7月19日(火)～9月15日(木)
冊数	10冊
返却期 限日	9月30日(金)※4年生のみ実習期間後の10/24(月)
対象	理学療法学科、作業療法学科学生

次回8月号は、実習に向けて、図書・文献検索の方法について特集します！ご期待下さい！

特集「障害を持つ当事者が書いた図書」

本学図書館の蔵書である、障害を持った当事者が書いた図書をご紹介します。

・ 五体不満足 乙武 洋匡（著）1998年 講談社
筆者はテレビでも有名ですが、先天性四肢切断という障害を持っています。著者は、生まれた日を「超個性的な姿で誕生」した日として描写しています。著者が本書を書いたのは1998年ですが、今ではパラリンピック等でも当たり前に言われている「障害は個性だ」という主張は、この著書から生まれたのかもしれません。

「障害は不便です。だけど、不幸ではありません」。両手両足が無くても今日も電動車椅子で走り続ける、早大生（当時）の著者の「生きる力」を、この著書から感じてください。

・ 「話せない」と言えるまで 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害 関 啓子（著）2013年 医学書院

筆者は言語聴覚士で、大学に勤務していた際に、突然心原性脳梗塞になり、その後、失語症（ことばがうまく話せない障害）などの高次脳機能障害を持つようになりました。本書は、著者が脳血管障害で倒れてから回復に向かうまでの自らの体験を、主治医、門下のスタッフらの協力のもとでまとめたものであり、発症当時から急性期病院での治療・経過、退院後の生活などが時系列でまとめられています。

是非とも、著者が自身を主観的、客観的に見ながら記す本書を通じて、コミュニケーション障害者に対する理解を深めてください。

図書館の開館日と開館時間 毎週月曜日から金曜日、9時から17時まで
閉館日（土日・祝日）：7月は、2、3、9、10、16、17、18、23、24、30、31日です。